

第 38 回定期総会及び第 130 回学術大会報告

平成 23 年 4 月 22 日(金)、東京ガーデンパレスにおいて第 38 回定期総会及び第 130 回学術大会が開催されました。

定期総会では、総会員数 197 名、会員出席者数 78 名、委任状 35 名で総会成立宣言の後、丹羽代表幹事を議長選出し、議題として挙げられた 22 年度事業報告、22 年度決算報告、22 年度監査報告、23 年度事業計画、23 年度予算案は原案通り承認されました。また、新副幹事 2 名の紹介も行われ、挨拶をして頂きました。更に、3 月 11 日に発生した東日本大震災被災地への義援金として、本年度予算の一部を使用する提案についても承認して頂き、義援金金額については幹事会一任となりました。

総会後の第 1 講演は、京都工芸繊維大学の安永秀計先生より「バイオベースマテリアルを用いた染毛料 ―合成と課題―」と題してご講演頂きました。ヒトが摂取している物質から生成された染料であれば、人体への影響を少なくすることができるはず、という考えのもと、カテキンから得られた染料(カテキノン)と、その染色効果、安全性、耐褪色性等についての研究成果を発表して頂きました。

続く第 2 講演は、駒沢女子大学の富田隆先生より「ストレスに打ち勝つ心理学」と題してご講演頂きました。ストレスフリーに生きるために、良い人間関係を構築すること、自分で物事をコントロールできるよう対処能力を高めること、自発的努力を続けられるよう行動に対する意味を見つけること、などのポイントを挙げ、わかりやすく解説して頂きました。

学術大会後の懇親会は、濱中関西幹事の挨拶、富田先生の乾杯の音頭と続き、終始和やかな雰囲気の中、ご講演頂いた先生方への質問や、会員同士の情報交換など、歓談は尽きず、予定時間を少し過ぎての終了となりました。

総会で紹介のあった新副幹事を加え、更に当協会の活動内容を充実させていこうと考えておりますので、今後とも宜しくお願い致します。

(村田)